

DISTRICT 2640



2013-2014 VOLUME 4

Engage Rotary Change Lives

ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を

ガバナー月信

10月号

GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER 国際ロータリー 第2640地区月信

- RI 会長メッセージ
- ガバナーメッセージ
- 学友会の歴史
- 米山月間によせて
- 地区米山寄付増進委員会より
- 現況報告 米山記念館
- 職業奉仕月間によせて
- RAC 活動報告
- 串本町竜巻被害支援のお願い
- 地区資金会計報告書について
- その他各種お知らせ
- 第2640地区 出席報告

2013-2014年度ガバナー

久保 治雄

〒596-0825

大阪府岸和田市土生町2丁目27番1号

TEL:072-437-2640 FAX:072-437-2650

<http://www.rid2640g.org/kubo/>





職業奉仕を考える

RI President Message 職業奉仕を考える

2013～2014年度 国際ロータリー会長
ロン D. バートン

ロータリーで10月は、私たちの奉仕の第二部門である職業奉仕を思い出すための月です。

ロータリアンの中には忘れられた領域の奉仕と呼ぶ人もいますが、私はそうは思いません。実際、職業奉仕は頻繁に行う奉仕部門であるために、私たちはそれが奉仕だとは常に意識していないのです。

自らの職業を高潔なものにする

職業奉仕は「ロータリーの目的」の第2の項目をルーツにしている、すべてのロータリアンに、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとするを、奨励しています。

つまり、職業奉仕の考え方というのは、私たちの仕事は社会に奉仕する一つの手段だということです。

顧客へのサービスであろうと、学生の指導であろうと、患者の治療であろうと、また、商売、研究、メディアなどどんな分野であろうと、私たちは能力と高潔さをもって行う自らの仕事に誇りを持っています。

それぞれの職業がニーズを満たし、自分たちの務めを遂行することで、私たちは地域や社会に貢献しているのです。

多様性はロータリーの強み

いつも目立つというわけではありませんが、クラブにおける職業奉仕の役割は重要です。

個々に高い倫理基準を保持することで、私たち全体で共有できる信望を得ます。

すべての職業を平等に評価し、クラブの中の職業分類の制度を保つことによって、クラブが地域社会を反映するのを確実にし、地域社会に十分な奉仕ができるようになります。

全会員が弁護士のロータリークラブでは、教師、エンジニア、経営者、歯科医などの会員からなるクラブの力に遠く及ばないでしょう。ロータリーでは多様性が私たちの強みなのです。

この多様性は私たちの奉仕にとってだけではなく、会員にも利点があります。仕事上役に立つ、つながりや機会を見つける貴重な手段を与えてくれるのです。

会員のそのような側面は、ロータリーの誕生した時に生まれました。私も同感ですが、ポール・ハリス自身は、ロータリアンであることとはその人と仕事を一緒にできそうな、ある価値観を持っているという信念を持って、ロータリーの会員であることのビジネスにおける利点について、しばしば書いています。

世界が今までになく結びついている今日、ロータリーの会員であることは、共有できるのを誇りに思うべき榮譽なことなのです。



2013～2014年度
国際ロータリー会長

ロン D. バートン





ガバナーメッセージ (1)

Governor's Monthly Letter クラブ会長・幹事様

国際ロータリー第 2640 地区ガバナー
久保治雄

今月は、職業奉仕月間と米山月間です。米山月間につきましては、平岡正巳 パストガバナー、谷野一彦 ガバナー補佐・米山記念奨学委員長、中野一郎 米山寄付増進小委員長に執筆をお願い致しました。

職業奉仕月間については、私と松田洪毅 奉仕委員長と二人で担当致します。今月は、1915年のサンフランシスコ大会においてほぼ原文のまま採択された、「道徳律」をご紹介します。



「道徳律」

1. 自分の職業は価値あるものであり、社会に奉仕する絶好の機会を与えられたものと考え、これは綱領上の職業奉仕の項目と一致します。

2. 自己改善を図り、実力を培い、奉仕を広げること。それによって、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というロータリーの基本原則を実証すること。

ロータリーの例会を通じて、お互いに職業上の発想の交換をしながら、他人の事業上の取り組み方を参考にして自己改善を図ります。もしも自分の職業態度に問題があれば、それを正さなければなりません。

その結果、経営能力が高まって、He profits most who serves best の成果を、自分の事業所で実証することができるのです。

3. 自分は企業経営者であるが故、成功したいという大志を抱いていることを自覚すること。しかし、自分は道徳を重んじる人間であり、最高の正義と道徳に基づかない成功は、まったく望まないことを自覚すること。

経営者として、自分の事業を成功させようと考え、これは当然のことですが、正義と道徳に基づかない事業の発展を望んではなりません。

4. 自分の商品、自分のサービス、自分のアイデアを金銭と交換することは、すべての関係者がその交換によって利益を受ける場合に限り、合法的かつ道徳的であると考え、

商取引の原点は等価による物々交換であり、それが貨幣を介した交換に変わった時点で、利益という概念が入ったわけです。従って、買った者も売った者も、共に満足しなければ商売は成立しないはずで。

5. 自分が従事している職業の倫理基準を高めるために最善を尽くすこと。そして、自分の仕事のやり方が、賢明であり、利益をもたらすものであり、自分の実例に倣うことが幸福をもたらすことを、他の同業者に悟らせること。

6. 自分の同業者よりも同等またはそれに優る完全なサービスをすることを心がけて、事業を行うこと。やり方に疑問がある場合は、負担や義務の厳密な範囲を越えて、サービスを付け加えること。

自分が提供した商品や技術は、商法上の期限や民法上の期限を越えて、一生責任を持ちなさいということで、現在の製造物責任法すなわちPL法を先取りしたものです。しかし、これを忠実に守れば、会社は潰れる可能性があるという反発が出て、その後この道徳律が廃止される一つの原因になりました。

7. 専門職種または企業経営者の最も大きい財産の一つこそ、友人であり、友情を通じて得られたものこそ、卓越した倫理にかなった正当なものであることを理解すること。

真の友人はお互いに何も要求するものではない。利益のために友人関係の信頼を濫用することは、ロータリーの精



ガバナーメッセージ (2)

神に相容れず、道徳律を冒瀆するものであると考えること。
自分が利益を得るために、友人との信頼関係を利用してはなりません。

8. 社会秩序の上で、他の人たちが絶対に否定するような機会を不正に利用することによって、非合法的または非道徳的な個人的成功を確保することを考えてはならない。

物質的成功を達成するために、他の人たちが道徳的に疑わしいという理由から採らないような、有利な機会を利用しないこと。

9. 道義的に疑義のあるような条件や、機会を利用した取引はしてはなりません。横流しや不正ルートを利用した取引は、ロータリーの職業奉仕とは程遠い行為と言わざるを得ません。



10. 私は人間社会の他のすべての人以上に、同僚であるロータリアンに義務を負うべきではない。ロータリーの神髄は競争ではなくて協力にあるからである。ロータリーのような機関は、決して狭い視野を持つてはならず、人権はロータリークラブのみに限定されるものではなく、人類そのものとして深く広く存在するものであることを、ロータリアンは断言する。さらに、ロータリーは、これらの高い目標に向かって、すべての人やすべての組織を教育するために、存在するのである。

ロータリアンだという理由で特別な配慮をしてはならないし、期待してはなりません。ロータリーの創立当初

は、物質的相互扶助として、これが行われていましたが、1913年を以って決別したはずですが、

11. 最後に、「すべて人にせられんと思うことは、他人にもその通りにせよ」という黄金律の普遍性を信じ、我々が、すべての人にこの地球上の天然資源を機会均等に分け与えられた時に、社会が最もよく保たれることを主張するものである。

これが、マタイ伝からの引用だという理由で、この道徳律を廃止しようという原因の一つになりましたが、これはキリスト教に特有な教義ではなく、同じ意味の教えが論語にも、イスラム教にも、仏教にも書かれています。全ての哲学的な教えの中には、この言葉が入っており、世界共通の教えとも言えます。

シェルドンも、「自分が人からしてもらいたいなどと思っていることを、先ず人にしてあげなさい」

という教義と **He profits most who serves best** は全く同義語であると述べています。
〔源流の会〕会長田中 毅著

98年前の国際大会で採択された「道徳律」が、今も尚、新鮮な言葉として息づいていることに驚きを感じました。正に温故知新です。



国際ロータリー第 2640 地区ガバナー

久保治雄



『学友会の歴史』

国際ロータリー第 2640 地区 米山記念奨学部門
アドバイザー

平岡 正巳

公益法人米山記念奨学会は、今日迄 121 ケ国以上の国々から留学のために来日した 1 万 7 千人以上の学生を支援してきました。民間団体として奨学団体では日本最大である。

もとを辿れば、日本にロータリー活動を導入した米山梅吉氏が生前、東南アジアから日本に留学している苦学生の学費の量に、ご自身のポケットマネーを与えられていたことが、没後明らかになり、東京 R C が日本で勉学に励む留学生のための奨学金制度を 1952 年に発足させた。

「学友の歴史」を紐解けば、学友会の第 1 号は 1983 年 1 月に台北に誕生している。学友会の組織は、米山奨学生の O B ・ O G から成っているの、奨学生を多く輩出している国は、奨学生が帰国して活躍する人が多くなるので、自然成行きとして条件は整うのであるが、台湾の場合、正式に結成される迄 10 年以上の歳月がたっている。勿論、米山奨学生だけでなく、黒沢張三氏をはじめ多くの両国の関係ロータリアンの努力に帰するところが大きかったことは言うまでもない。



国内では 1985 年 11 月に東京の Y M C A で 11 ケ国、約 70 名の元米山奨学生が参加して第 1 回の総会が開かれた。学友会（関東）の誕生である。結成に先立つ 2 年前に米山奨学生 O B 会の設立の提案があり、川上寿一氏や清水長一氏らの尽力で米山学友会が結成される運びとなった。米山奨学生学友会（関東）の結成を契機に、その後、関西、北関東、西日本にも続々と学友会が結成されていった。

1986 年 5 月 11 日に大阪新阪急ホテルで、第 264、265、266、268 地区在住の元及び現米山奨学生、地区米山奨学会関係ロータリアンが多数出席のもと、創立総会が開催され、米山奨学生学友会（関西）が結成された。第 2640 地区の学友会のルーツである。

同年 11 月 22 日には、学友会（北関東）の創立総会が土浦第 1 ホテルで盛大に行われた。

1988 年 7 月 10 日には、福岡のホテルセントラザ博多で西日本学友会の創立総会が開かれた。その地区は第 269、270、271、272、273、274 地区である。

現在、二、三の地域では便宜上複数の地区合同で学友会を組織しているところはあるが、国内の全地区に於いて米山奨学学友会がある。

韓国では、1979 年 9 月に開かれた R 1 アジア地域大会が開催されたのを機会に、元米山奨学生たちによって同窓会が結成されたが、その後政情不安のために立ち消えになった。しかし 10 年後の 1989 年にソウル国際大会が開かれ、大会第 2 日に朝鮮ホテルで 60 名を越える元米山奨学生が、米山奨学会の湯浅理事長をはじめ役員を招待し、席上林実行委員長（77 ～ 78 年米山奨学生）は、「私達は米山奨学事業のお蔭で、お互いに強い人間関係を結ぶことができました。その暖かい人間愛を大切に、皆様から戴いた思いを忘れることなく、ロータリー精神で社会に奉仕します」と挨拶し、米山関係者を感激させた。この歓迎会で学友会結成の申し合わせが行われ、6 月 17 日に「韓国ロータリー米山記念奨学学友会」が発足した。

近年、米山奨学生の出身国として最も多い中国は、2002 年に中津川 R C 支援で結成された上海分会と 2008 年に結成さ





『学友会の歴史 ②』

れた北京を中心とする華北分会とを合体した中国米山学友会が2009年に設立された。2010年7月に上海で開かれた第2回総会では、中国全土から集まった米山学友161人と日本からロータリアン及び家族ら253人が参加する盛会となり、次々と学友が壇上に上り、日本のロータリー、世話クラブやカウンセラーに感謝の念を表した。同年度、我が地区からも米田ガバナー、京谷委員長をはじめ米山関係者並びに米山学友併せて100人以上が上海で集合してシンポジウムを開催、席上、上海大学の副学長も出席されるなど盛況であった。ガバナー月信八月号に、昨年から延期されていた中国米山学友会が、2012、2013年度合同総会が6月15日に上海で開かれ、日本からは板橋理事長も出席され、ロータリアン、学友併せて55人が参集したと報告されていた。“We Are Family”の看板を見て板橋理事長が感動された様子、又、学友が登壇して、世話クラブやカウンセラーへの恩義と感謝は一生忘れないなど話され、参加者全員胸を熱くしたとの報告もされていた。

現在、ロータリー財団の親善奨学制度は活動静止の様な状態になっている。それだけにロータリーの創始者ポール・ハリス並びに日本へロータリー活動を導入された米山梅吉氏は、寄しくも同じ時期に苦難の時世を生き抜いた偉大なロータリアンであり、両者共、親善奨学制度に「世界平和」の夢を託されていただけに、米山奨学会の活動は意義深いと思う次第である。ガバナー、京谷委員長をはじめ米山関係者並びに米山学友併せて100人以上が上海で集合してシンポジウムを開催、席上、上海大学の副学長も出席されるなど盛況であった。ガバナー月信八月号に、昨年から延期されていた中国米山学友会が、2012、2013年度合同総会が6月15日に上海で開かれ、日本からは板橋理事長も出席され、ロータリアン、学友併せて55人が参集したと報告されていた。“We Are Family”の看板を見て板橋理事長が感動された様子、又、学友が登壇して、世話クラブやカウンセラーへの恩義と感謝は一生忘れないなど話され、参加者全員胸を熱くしたとの報告もされていた。

現在、ロータリー財団の親善奨学制度は活動静止の様な状態になっている。それだけにロータリーの創始者ポール・ハリス並びに日本へロータリー活動を導入された米山梅吉氏は、寄しくも同じ時期に苦難の時世を生き抜いた偉大なロータリアンであり、両者共、親善奨学制度に「世界平和」の夢を託されていただけに、米山奨学会の活動は意義深いと思う次第である。

国際ロータリー第2640地区 米山記念奨学部門
アドバイザー
平岡正巳





『米山月間によせて』

国際ロータリー第 2640 地区 地区米山記念奨学委員
委員長

谷野一彦

ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給し、支援する、事業規模と採用数において日本の民間最大の奨学基金団体です。

ロータリアンとの交流を通じ、日本人の心を理解してもらい、互いに信頼関係を築き、将来、世界平和の架け橋となる優秀な人材を育成することを目的としています。

当 2640 地区は小委員会制（米山選考小委員会・米山学友小委員会・米山寄付増進小委員会）をとり、米山奨学生に良好な勉学環境を提供しロータリーと米山奨学事業の理念を伝え、また地区内奨学生と世話クラブ・カウンセラーへの支援、およびロータリアンと米山奨学生、学友の交流をより促進する活動をしてまいります。



さて、2013 学年度は 20 名の新規採用学生を迎え、4 名の継続学生と共に、様々な活動を始めています。新たな制度として、サポートクラブ制度を採り入れ、田辺東 RC 様を主世話クラブに、有田 2000RC 様がサポートクラブについていただき、和歌山大学の学生をお世話いただいております。月一回の例会訪問が主世話クラブに不可能な時は、サポートクラブにてお世話をいただく、そこから、主世話クラブとサポートクラブの会員様同志も交流を図っていただき、きめの細かいご指導をいただいております。初めての試みにも関わらず、本当に順調にお世話いただいていることを、心より感謝申し上げます。また、これをきっかけに、今までお世話クラブになりえなかった遠方のクラブ様も、どうぞこの制度を取り入れていただき、次年度より、多数のクラブ様が世話クラブとなっていただけのご検討いただくことをお願いいたします。

また、学生たちに、たくさんの招聘卓話の機会を与えていただき、ありがとうございます。学生たちも、卓話研修会等を開いたり、各世話クラブで卓話をさせて頂いたり、日々研鑽をしています。どうぞ、お世話クラブでないクラブ様にも、直に、米山記念奨学生と交流いただき、卓話の機会を与えていただけましたら、米山事業への理解促進につながる有効な手段となり得ることは言うまでもありません。今後もより多くのクラブ様より、卓話の機会を与えていただきます様、重ねてお願い申し上げます。

今後とも、米山事業の外国人留学生の支援・交流を通じ、国を超えた絆や信頼関係を築き、やがて、一人ひとりの胸に世界平和を願う "心" を育てるという理念をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。



地区米山寄付増進委員会より

中野 一郎

米山記念奨学会は、皆様の寄付金を財源として日本で学
ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しております。従い
まして寄付増進が事業の原動力であることは皆様もご理解
いただけているものだと考えております。

寄付金のお願いは、以前の自分を振り返ってみてもあま
り協力的ではなく苦手な分野です。クラブでは特に財団や
米山月間の際、担当委員長から寄付のお願いをアナウンス
されると半ば強迫観念に近い感情を持ちながらも、皆がし
ているのだから渋々寄付をする・・・というのが正直なところ
でした。

しかし昨年度、クラブにてフィリピンからの奨学生をお
世話する事となりカウンセラーとして奨学生と触れ合う事
により、米山記念事業の有益さを大いに理解する事が出来
ました。

彼は日本文化と日本人を母国以上に愛し、クラブや地区
行事の参加も積極的でした。

ただしお国柄か、しばしば約束の時間に遅れてやってく
る事があり、やきもきさせられたのも、今となっては楽し
い思い出のひとつです。

将来は職業人として日本とフィリピンの架け橋となるこ
とを約束して 3 月に無事卒業致しました。

地区では今年度新たに 20 名の奨学生と 4 名の継続奨学
生、総勢 24 名が世話クラブ、カウンセラーの皆様にお世
話になっております。

学生に対する奨学金はすべて皆様の寄付で賄われてお
り、地区には地区内会員の寄付実績をもとに学生枠が決め
られます。当地区では 2012 年度は 26 名でしたが 2013
年度は 24 名となっており、日本全体では 98 名のマイナ
スです。日本の経済不況と会員減少が原因だと推測されま
す。

当地区では普通寄付は会員 1 人当たり年間 6000 円を
お願いし、特別寄付をあわせて年間 2 万円を目標として
お願いしております。特別寄付は任意であっても普通寄付
は義務になっているのでは？とよく言われますが決して義
務ではございません。但し 1967 年に財団法人認可申請の
際「安定財源がない」と難色を示した当時の文部省に対し
て、普通寄付金による一定収入が見込めると説得して国内
全クラブから普通寄付の確約を頂き、設立許可を得た経緯
があります。従いましてこの事業は全地区が参加する合同
事業であるにご理解頂き、普通寄付の送金をお願いしてい
る次第です。

又、税制上の優遇措置や表彰制度、その他等は皆様にお
配りしております「豆辞典」をご参照下さい。

会員皆様のより一層のご理解を心からお願い申し上げま
す。

国際ロータリー
第 2640 地区
米山寄付増進小委員会
委員長

中野 一郎



現況報告米山記念館

国際ロータリー第 2640 地区
パストガバナー

大澤 徳平

平成 25 年度 公益財団法人・米山梅吉記念館の理事会 (8 月 24 日) に久方ぶりに出席いたしましたので直近の記念館の報告をさせていただきます。

理事会は理事 13 名中 11 名出席 木内昭夫事務局長 (伊豆中央 RC) の司会で始まりました。

井上雅雄常務理事 (甲府南 RC) の開会の言葉に続いて渡邊脩助理事長 (三島 RC) より猛暑の中の出席を頂いたお礼の言葉からの挨拶があり、議長に渡辺理事長が選出されました。第 1 号議案 平成 24 年度の事業報告から議案に入りました。

当法人は昭和 44 年 (1969) の創立から 44 年となり、一昨年公益財団法人に移行 次年度は 45 周年、やがて創立 50 周年を迎えることとなります。

しかし 24 年度賛助会費収入が大きく減少したこの原因とこの対策を考える必要を痛感した。

寄付金について所得税、法人税について税額の優遇処置を得られることの処理が完了していることを周知徹底せねばならない。(所得控除、損金算入は従前から可能であった)

入館者数の推移：入館者数は 3200 人、来館ロータリクラブ数は 97 クラブと、昨年度を下回ることとなった。その原因究明ともっと記念館の知名度を高める工夫の必要がある。例祭の実施と館報の発行：秋の例祭は渡辺玉枝氏 (エベレスト世界女性最年長者) の「私の登った外国の山々」一般の聴衆者が多数で会場に入りきらなかった。春は東京 RC の弦間 明氏「資生堂の社会貢献と東京 RC の職業奉仕」という講演を行い盛会で終わった。春秋 2 回の館報は 3000 部発送、毎回運営委員会の皆様と長泉 RC の有志の皆様にお世話になっている。

米山文庫の状況：平成 22 年 4 月 29 日開館した米山文庫は順調に推移し昨年 7 月から本年 6 月末までで 6200 人の来館者 (内子供 3300 人) があった。行政である長泉町の図書館とタイアップし、地域の図書館としての役割を担うようになってきている。この運営は長泉 RC の皆様です。

賛助会費の状況：例年は賛助会費は 200 万円前後であるが、昨年度は 120 万円と大きく減少した。この原因を検討しその対応策を図る必要がある。

続いて第 2 号議案 平成 24 年度貸借対照表、損益計算

書、同付属明細書及び財産目録承認の件 (監査報告)：それぞれご報告があり承認された。

第 3 号議案は副理事長の選出で沼津 RC の積 惟貞氏が選出された。

すべて賛助会費・寄付金 (地区寄付金・特別寄付金・百円募金寄付金) で賄うには大変な努力が必要です。お世話下さる地元ロータリアンの皆様に感謝の気持ちを表すには百円募金寄付金で答えようではありませんか。

昨年の百円募金寄付金は 1,938,100 円 (前年度は 2,551,400 円) です。19,381 人のご寄付です。日本のロータリアンは 86,462 人 (6 月末現在) 居られます。百円募金寄付金の存在を知らないロータリアンが居られるのではないのでしょうか。

またクラブで新しい会員と共に米山翁の墓参を兼ねた資料館の見学のための記念館訪問 (例会場を会館ホールに変更して) を呼びかけたいと思います。(夜は一泊伊豆温泉で親睦を図るのもいいですよ) 堺フエニックス RC の皆様は日帰りで訪問されました。

なお、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会とは別法人で独自の理事会により運営されておりどちらも寄付金については所得税、法人税について税額の優遇処置を得られることを重ねてお知らせしてこの近況報告を終わります。

国際ロータリー
第 2640 地区
パストガバナー
大澤 徳平





職業奉仕月間によせて

国際ロータリー第 2640 地区
地区奉仕委員会 委員長

松田 洪毅

今年度の奉仕委員会は、久保治雄ガバナーの強い地区改革の方針で地区組織の簡素化を全面に打ち出しております。社会奉仕、国際奉仕、職業奉仕を一つにまとめ「奉仕委員会」としました。これは、久保ガバナーが時代の変化に対応する柔軟性を持たせ、時代の変化と共に、各クラブにさらに発展、充実した奉仕活動ができるようにと一つにしました。さらにより良い奉仕プロジェクトに力が結集出来るようにと組織改革をしたものです。

今年度の職業奉仕活動には・・・

四つのテストを深く繰り返し奨励し、地域社会に生きる人々と共生・共働・相互扶助の心を持って活動することを本年度のテーマにさせて頂きました。

R I テーマはロン・D・バートン会長は「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」と発表しております。久保治雄ガバナーはそれを受けて、地区方針に「相互扶助“mutual aid” 世界政治の混乱、経済の先行き不安、今こそメンバーと家族、ともに働く仲間と地域社会に生きる人々との共生共働こそロータリーイズムの原点であることを確認する」と言っています。この言葉の意味こそ私達ロータリアンは自分自身の職業を通じて社会に手をつなぎながら光を当てて行くと言う職業奉仕活動であると私は感じております。

我が和歌山東ロータリークラブの重鎮で R I 2640 地区パストガバナーも務めました嶋 吉宗氏（故人）が 1989 年～1990 年にロータリーについての手記を発行されました。その中に「職業奉仕の今日的意義」と題して執筆されております。一部抜粋の中で職業奉仕は「ものの価値観は時代とともに変わるものだ」と言っております。またその中で 1990 年に R I は 50 年振りに職業奉仕に関してロータリーの将来への一層の発展を期す為に見直しの第一歩を取り上げた」と記されております。記録によりますと、当時の R I 副会長ウィリアム・T・サージャント氏を委員長として、他にイギリス人 2 名、アメリカ・フランス・ニュージーランド・パナマから各 1 名ずつと、我が国日本

からは服部礼治郎氏パストガバナーの計 7 名でアメリカ・エバンストンで慎重審議が有り、「職業奉仕に関する新方針」が提示されたとあります。

ロータリーの活動は時代の変化に対応しながらも「ロータリーの奉仕の理想」は変わらず普及・浸透させ、ロータリーを拡大するための基本が職業奉仕であることはこれからも変わることはありません。そして「職業奉仕は、クラブとしてやるべきではなく、各会員が個人的にやるべきことである」と日本ではこんな便利で分かりやすい言い方で何度も繰り返言っています。

しかし自分の職業を通しての奉仕も、人の為世の為になるには高い倫理性の心を持って取り組まなければなりません。そこには、他人への思いやり、助け合いの心、公明正大な精神で行動する事が求められています。

この事こそが今年度、久保治雄ガバナーが唱えている相互扶助の心であります。皆さん方も今一度、地区方針「相互扶助」を考えて頂き、職業奉仕活動に更に取り組んで頂きますようにご期待申し上げ、一筆啓上させて頂きました。

国際ロータリー第 2640 地区
地区奉仕委員会 委員長

松田 洪毅



行事名	2013～2014年度 全国統一アクトの日
日時	2013年9月8日(日) 14時00分～17時00分 フォーラム 17時15分～19時15分 懇親会
場所	南海グリル
出席者	RAC12名・RACOB2名・RC16名
内容	<p>14時、地区RAC代表鳥居志保の点鐘で今期初の行事がスタートしました。</p> <p>まずは各クラブの会長によるクラブ情報・年間行事予定の発表があり、鳥居代表からも地区の行事予定の発表と、今期の地区ターゲット Smile Factory みんなを笑顔にする工場でありたいという発表がありました。</p> <p>メインプログラム①ではRACを知ってもらうためのテストを行いました。30問のRACに関するテストをそれぞれ解いていただき、解説を行いました。</p> <p>メインプログラム②では3つの班にわかれて、ディスカッションを行いました。事前にOBOGからアンケートに答えていただいた「RACに入会してよかったこと」や、「現役に伝えたいこと」をそれぞれ読んでいただき、「今後RACをよくするにはどうしていったらいいか」それぞれの班で話し合っていました。</p> <p>話し合った結果を各班の代表がそれぞれ発表しました。</p> <p>その中では、</p> <p>「RCの先生方からの厳しいお声いただいたけど、RACをよくしたいと思っているからそのことなので頑張っていきたい。」「RACの会員増強のためには、魅力ある人物がいる、魅力あるクラブ、魅力ある地区でないといけない。そのためにどうしたらいいか。この話し合いでは結論までは出せなかった」「2640地区一丸となってRACを盛り上げていきたい」</p> <p>など様々な意見があり時間内に結論がでなかった部分もありますが、有意義なディスカッションができたと思います。</p> <p>17時15分からの懇親会では、南海グリルさんでのビュッフェ形式のお料理をいただき、RAC、RC、OB関係なくそれぞれのテーブルで色々な話題に花を咲かせていました。</p> <p>この行事を終えて、</p> <p>RCの先生方が私達RACのためを思っでご参加くださり、沢山の話を聞かせていただけて、とても良い機会であったと思いました。もっとRACの活動を知ってもらいたいし、私達もロータリーファミリーとして、もっとRCに協力させていただきたいと思いました。</p> <p>今期の地区ターゲットは Smile Factory ですが私達ローターアクターだけでなく、RCの方々にも Smile になってもらえたらと思います。</p> <p style="text-align: right;">(文責 地区RAC幹事西尾薫)</p>

活動写真

地区RAC鳥居代表の歓迎挨拶



メインプログラム①RACテスト解答中



懇親会にて

RC久保ガバナーとRAC鳥居代表



左から 佐納ガバナー補佐 鳥居代表 久保ガバナー

西尾RAC幹事 森口RAC直前代表
坂東RAC委員長



集合写真





行事名	2013～2014年度 アジア第3ゾーン代表者会議
日時	2013年8月31日(土)
場所	代表者会議会場 和光会館(旧 和光幼稚園) 愛媛県松山市緑町1-2-1
出席者	2640地区からは鳥居志保代表が参加
内容	<p>先日8月31日に愛媛県で行われた、7地区交流会に参加してきました。次々年度の全国ローターアクト研修会のホストの立候補地区が2地区あり、その地区のプレゼンをしてもらい、どちらの地区にホストをしていただくかを話し合いました。ですが、簡単にきまらず、7地区内で行うと不公平が出てしまうので、今年度の全国研修会で全国の地区に投票していただくことになりました。その後は懇親会で交流しました。</p> <p>関西からは4地区の代表幹事だけの参加でしたので、多少波にのれず困りましたが、新鮮な感じで楽しかったです。</p> <p>今後もこういう機会があれば積極的に参加したいと思います。</p> <p>(文責:鳥居志保)</p>
活動写真	

慎んで哀悼の意を表し、
心からご冥福をお祈り申し上げます。



中村 幸吉

なかむら こうきち

所属クラブ：富田林
職業分類：金属工学
在籍期間：40年

1928年10月16日生

2013年8月21日死去

表彰：マルチプル・ポールハリス・フェロー3回
第4回米山功労者マルチプル



田村 健治

たむら けんじ

所属クラブ：海南東
職業分類：放射線科医
在籍期間：26年1ヶ月

1944年7月5日生

2013年8月8日死去

表彰：マルチプル・ポールハリス・フェロー1回
第6回米山功労者マルチプル



新入会員のご紹介 (1)



楠本 順也
くすもと じゅんや
所属クラブ：泉州 KUMATORI
職業分類：通信販売業
生年月日：1973年12月22日



花本 壽美子
はなもと すみこ
所属クラブ：泉州 KUMATORI
職業分類：看護婦長
生年月日：1959年3月14日



福田 勇
ふくだ いさむ
所属クラブ：御坊
職業分類：調理食品販売
生年月日：1948年2月11日



南 昌余
みなみ まさよ
所属クラブ：御坊
職業分類：生命保険業
生年月日：1971年8月26日



玉置 幸史
たまき こうし
所属クラブ：御坊
職業分類：石材加工
生年月日：1953年8月4日



寺井 政義
てらい まさよし
所属クラブ：御坊南
職業分類：農業
生年月日：1951年12月13日



宮脇 辰郎
みやわき たつろう
所属クラブ：大阪千代田
職業分類：警備
生年月日：1951年1月1日



馬頭 弘太郎
ばとう こうたろう
所属クラブ：大阪千代田
職業分類：医療事務
生年月日：1976年3月23日



湯浅 昌吾
ゆあさ しょうご
所属クラブ：堺
職業分類：情報通信
生年月日：1959年10月28日



中嶋 千晶
なかじま ちあき
所属クラブ：堺
職業分類：内科医
生年月日：1956年10月3日



堀本 誠
ほりもと まこと
所属クラブ：堺フラワー
職業分類：医療コンサルタント
生年月日：1979年2月6日



奥平 朋久
おくひら ともひさ
所属クラブ：田辺東
職業分類：建設業
生年月日：1966年1月16日



眞貝 昌洋
しんかい まさひろ
所属クラブ：和歌山
職業分類：ラジオ・テレビ放送
生年月日：1959年3月7日



社領 直
しゃりょう すなお
所属クラブ：和歌山
職業分類：損害保険
生年月日：1964年6月11日



新入会員のご紹介 (2)



藤田 眞佐子

ふじた まさこ

所属クラブ：和歌山アゼリア
職業分類：高齢者介護施設
生年月日：1955年8月17日



浦木 睦雄

うらき むつお

所属クラブ：新宮
職業分類：信用金庫
生年月日：1954年1月1日



PHF・MPHF・ベネファクター 認証者 2013年8月

Club	Name	
Kaizuka Cosmos	Hideo Sawada	4
Sakai East	Hitoshi Nakano	2
Kansai International Airport	Hiroshi Tanaka	2
Sakai Izumigaoka	Fumiya Nakai	3
Taishi	Teiji Mivawaki	5

F・・・ポール・ハリス・フェロー
数字・・・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
BE・・・ベネファクター

米山功労者 6月

クラブ	氏名	表彰名
羽曳野	松本 隆昌	第9回 米山功労者マルチプル
羽曳野	福田 憲美	第9回 米山功労者マルチプル
富田林	千田 佑兵	第1回 米山功労者
富田林	辻 隆司	第4回 米山功労者マルチプル



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演より

- ◎「われらは地球の相乗り客」 ジョージ・ミーンズ 1970 1p (D.365 月信)
- ◎「どこに差があるか？」 ジェームズ・コンウェイ 1970 1p (D.365 月信)
- ◎「ロータリーの魅力は童心と微笑」 塚本義隆 1970 1p (D.365 月信)
- ◎「ホームクラブへ出席がなぜ大切」 塚本義隆 1970 1p (D.365 月信)

- ◎「ロータリーの目的は4つある？」 本田博己 2013 2p (D.2840 月信)

- ◎「『奉仕の理想』ってどういう意味？ そして、『超私の奉仕』とはどういう関係？」
本田博己 2013 4p (D.2840 月信)
- ◎「職業奉仕とロータリーの魅力」 大迫三郎 2013 2p (D.2730 月信)

- ◎「会員増強月間」 沖田哲義 2013 1p (D.2710 月信)
- ◎「幹事心得10箇条」 岡村泰岳 2013 1p (D.2720 地区協議会プログラム)
- ◎「ロータリー徽章に隠された秘密」 山本正治 2013 2p (ロータリーこぼれ話)
- ◎「国際貢献と二つの奉仕理念」 石井良昌 [2013] 9p (2680 地区研修セミナー講演集)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階

TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日





ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

2013-2014 年度
RI 第 2640 地区ガバナー
DG 2013-2014 RID2640

久保 治雄 HARUO KUBO

ガバナー事務所

〒596-0825 大阪府岸和田市土生町2丁目27-1
西栄ビル3F
電話 072-437-2640 Fax 072-437-2650
E-mail: kubo-2013@rid2640g.org

DG OFFICE

3F NISHIEI Bldg. 2-27-1, HABU-CHO
KISIWADA CITY, OSAKA, JAPAN 596-0825
TEL +81-72-437-2640 FAX +81-72-437-2650
E-mail: kubo-2013@rid2640g.org

G0054

2013-14 年度 RI テーマ :

ロータリーを 実践し みんなに 豊かな人生を ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

2013-14 年度地区方針 :

相互扶助 Mutual Aid

2013 年 9 月 18 日

国際ロータリー第 2640 地区
各ロータリークラブ
会長・幹事 各位

国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー 久保 治雄

串本町竜巻被害支援のお願い

拝啓 時下、皆様方におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

さて、平成 25 年 9 月 15 日串本町潮岬付近で、竜巻とみられる突風が発生し串本町を直撃致しました。

9 月 17 日の被害状況調査では、245 ヶ所がこの竜巻による被害を受けていることが判明致しました。

当地区として、串本町の被災地の方々にお見舞いを致したく存じます。

つきましては、国際ロータリー第 2640 地区で『串本町竜巻被害対策本部』を立ち上げました。

第 2640 地区内のクラブ様に於かれましては、何かと出費が多い折、恐縮いたしますが、串本ロータリークラブを通じて、被害を受けた串本町に支援義捐金の拠出をお願い申し上げます。

金額につきましては、クラブ・会員の方々のお心のままと致します。

また、各クラブでおまとめ頂き、下記口座までご送金下さいますようお願い申し上げます。

敬具

振込先 : きのくに信用金庫 串本支店

普通預金 8152237

串本ロータリークラブ 本会計 橋本昭二

(はしもと しょうじ)



平成25年9月15日発生

串本町竜巻に関する被害状況

突風発生時刻 (推定)

9月15日 (日)

- 14:30 出雲地区 (潮岬青少年の家付近)
潮岬地区 (平松、萩尾)
田並地区 (円光寺周辺)
- 17:10 西向地区 (原町、上ヶ地)
- 18:05 串本地区 (矢ノ熊)

警報発令状況

9月15日 (日)

- 9:25 波浪警報発表
- 15:50 大雨、洪水、暴風警報発表

9月16日 (月)

- 11:20 大雨、洪水警報解除
- 13:42 暴風、波浪警報解除

家屋等被害件数

【18日 (水) 13:00現在 家屋等被害数 (詳細は調査中)】

田並	35件
出雲・潮岬	45件
西向	82件
串本	91件
合計	<u>253件</u>

※倉庫等を含む





串本町竜巻に関する被害状況 (2)

人的被害

田並地区 女性2名（擦り傷）
串本地区 女性1名（ガラスによる切り傷 腕）
くしもと病院に2名搬送（内1名は上記の女性）軽傷
合計4名

被害状況等内容

【田並】円光寺周辺

家屋20～30軒 瓦が飛んでいる（内2軒は屋根が全壊のようである）
田並公民館に6名（2世帯）避難→7名に→8名→9名（4世帯）→6名
円光寺周辺に消防職員と消防団
女性2名が擦り傷程度の怪我

【潮岬】平松・萩尾

潮岬町営住宅（潮岬457番地） 屋根破損、壁倒れガラス破損
民家のガラス破損
瓦が飛んでいる
小屋が破損
NTT電柱が傾いている
ビニールハウス倒れる
木が倒れる
外灯が倒れる（平松のヤスハラヘアサロン付近）

【出雲】潮岬青少年の家

体育館のガラスが破損
家屋瓦の被害有り

【西向】原町・上ヶ地

民家の屋根に被害
民家のガラスに被害
古座分庁舎を避難所として開放する旨の放送実施
西向小学校2階窓ガラス割れる、正面の門が倒れる



串本町竜巻に関する被害状況 (3)

【串本】矢ノ熊

女性1名が軽傷（腕をガラスで切る）
道路に角材やガラスが散乱（職員対応）
谷口プロパン被害
建設部付近岡地ガラス被害有り
鳥勝～お好み焼きコロあたり被害有り
中央本田横倉庫の柱が倒れそう→消防へ→撤去
楠原呉服店3階窓ガラス落ちる可能性有り→建設課→国道事務所へ
楠原呉服店前外灯がショートしている→関西電力へ
コースト21駐車場に国道の被害ゴミ等を集めている→国道事務所（小森へ）
ピュイダムール被害有り

和歌山地方気象台現地調査

9月15日（日）

職員を「気象庁機動調査班」として派遣し、突風をもたらした原因などについて現地調査を実施するとのこと。

16日（月）10:00を予定していたが、通行止めのため出発見合わせ中と連絡有り。→9:40出発 14:00到着予定

13:55 気象台到着 町長室にて状況報告

14:25 気象台現場確認開始

・気象庁機動調査班（JMA-MOT）派遣期間16日～18日

9月19日（木）

・現地調査の報告をメールにて受信

【竜巻に関する報告内容】

	出雲・潮岬～田並	串本	西向
現象の種類	竜巻と認められる	竜巻と推定	竜巻と推定
強 さ	藤田スケールF1	藤田スケールF1	藤田スケールF1
被害の範囲	長さ：約9km 幅：約100m	長さ：約500m 幅：約130m	長さ：約600m 幅：約200m





ハイライトよねやま 162

1 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

8月までの寄付金は前年同期と比べ1.7%増（普通寄付金1.6%増、特別寄付金1.9%増）、約480万円の増加となりました。大口寄付者の方をはじめ、多くのロータリアンの方々からのご寄付に感謝申し上げます。

来月10月は米山月間です。米山へのご寄付は確定申告の際に「所得控除」もしくは「税額控除」のどちらか有利な方式を選択することができます。さらに、普通寄付金分もクラブ事務局から会員氏名等のデータをお送りいただければ、申告用領収証を送付いたします。申請方法は当会ホームページをご覧ください。今後とも引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2 理事会・評議員会 開催報告

第五回理事会が8月23日に、また、第三回定時評議員会が9月4日に、それぞれ都内ホテルで開催されました。

第五回理事会

議長：板橋敏雄理事長

出席者：理事32人、監事：2人

【主な議題】2012年度事業報告・計算書類等の承認、2013年度収支予算書一部修正の件、委員会委員選任の件など：承認

第三回評議員会

議長：上野操評議員

出席者：評議員27人 常務理事・監事9人

【主な議題】理事の選任、評議員補欠選任、2012年度計算書類承認および監査報告の件など：承認

なお、9月4日の評議員会の前には、“よねやま親善大使”の尤銘煌さんと楊小平さんの活動紹介ビデオを上映し、お二人から自己紹介のスピーチをしていただきました。



3 ガバナーエレクト研修セミナーで米山をPR

次年度ガバナーを対象とするガバナーエレクト研修セミナー(GETS)が9月3-4日、都内で開催され、3日の本会議において板橋敏雄理事長と岩邊俊久事務局長が米山記念奨学事業の現況説明を行いました。また、同日の「配偶者プログラム」では、米山学友を代表してよねやま親善大使の楊小平さん(中国/2011-12/東広島21RC)が20分間のスピーチを行いました。

楊さんは時折ユーモアを交えながら、現在も続けている広島平和記念資料館のピースボランティアガイドや、自身で企画した中国への平和スタディツアーなどの活動を紹介。米山奨学金のおかげで学位を取得できただけ



でなく、このような活動につながる「奉仕の精神」をロータリアンから学ぶことができたこと、ロータリーへの深い感謝を述べました。

「教育の大切さを日本の社会から教わりました。将来は大学の教員となって、そこから新しい先生を育てたい」と、スピーチを結んだ楊さんに、会場から温かい拍手が贈られ、セッション終了後は、楊さんを囲む談笑の輪ができました。

4

台湾学友会による日本人対象奨学金 第5期生が決定

台湾米山学友会（正式名称：（社） 中華民國扶輪米山会）が恩返しの気持ちから始めた「日本人若手研究者奨学金」が5年目を迎えました。当会ホームページを通じて行った第5期生の募集には9人の応募があり、台湾米山学友会理事会による厳正な選考の結果、このたび以下の合格者2人が決定しました。合格したお二人には今年9月から1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドル（約84,000円）が支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生生活を物心両面で支えます。



いちかわ のぞみさん

国立台湾藝術大学大学院博士課程2年に在学中。専門は書画芸術。将来は大学で教鞭を取り、日台両国の芸術や史学を学ぶ者の懸け橋になりたいと希望している。



いもと りょうじさん

今年9月から国立台湾藝術大学大学院修士課程に入学。専門は音楽（ピアノ）。将来は音楽教育と演奏活動を通じて、台湾と日本の文化交流に貢献することが夢。

5

クラブ米山委員長セミナーを初開催！ — 第2690地区 —

第2690地区初のクラブ米山奨学委員長セミナーおよび奨学生・学友親睦会が、森本ガバナー、葛尾米山記念奨学会理事、伊藤米山記念奨学会評議員及び地区米山奨学委員などの出席のもと、「岡山エリア」（8月25日）と「鳥取・島根エリア」（9月8日）に分けて開催されました。3県を擁する同地区は、特に鳥取・島根エリアでこれまで奨学生と学友が一同に会する機会がなく、今回、同地区米山奨学委員長の治郎丸清志氏が名簿をたよりに世話クラブ・カウンセラーに連絡を取り、かつて世話をした学友の所在確認と親睦会の案内をしてもらおうよう協力を求めました。その結果、岡山で20人、松江で



は17人の奨学生・学友が集合。「奨学期間が終わって初めてこうした集まりに参加できて本当に嬉しい」と、学友たちは口々に喜びを表しました。8月25日には、よねやま親善大使の楊小平さんと、岡山県立大学大学院在籍中のアルチャナ・シュレスタ・ジョシさん（2001-02/鈴鹿西RC）もゲストスピーカーとして参加。

9月8日には再び楊小平さんと、当会武本事務局員がスピーチを行いました。森本ガバナーは「地区が本気になって取り組めば、クラブや学友も協力してくれる。学友会の活性化が難しい地方でも、行動と気持ち次第で成果を出すことができるということを示したい。重要なのは、継続すること」と、今後の意気込みを語りました。

米山月間資料のお知らせ

最新の米山月間用資料を全ロータリークラブへお届けします（9月20日発送予定）。クラブ会長およびクラブ米山奨学委員長は必ずお目通しください。ガバナー、評議員、理事、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。

- ①豆辞典（必ず会員のみなさまへ配布してください） ②クラブ米山記念奨学委員長の手引き
③寄付金マニュアル ④事業報告書 ⑤事業報告書 統計・資料編（ほか）

2013年9月25日

国際ロータリー第2640地区
ガバナー 久保 治雄 様

国際ロータリー第2640地区
直前ガバナー 北中 登一
直前代表幹事 上田 俊夫
直前財務委員長 大森 豊

地区資金繰越金ならびに地区ファンド繰越金の送金について

急啓

財務委員会ならびに、公認会計士 上地克彦氏の外部監査を終えましたので、本日、地区資金繰越金残金ならびに地区ファンド繰越金を久保年度地区銀行口座（池田泉州銀行 東岸和田支店）へ送金致しましたので、ご査収下さい。

送金の内訳につきましては、下記をご参照下さい。

なお、Peace 絆復興支援委員会のファンド繰越金 41,110 円は、通帳で引渡しとなります。

早々

【送金内訳】

地区資金繰越金（7/1 送金済）	10,000,000 円	
地区資金繰越金残金（9/25 送金）	13,384,690 円	} 29,378,318 円
地区ファンド繰越金（9/25 送金）	15,993,628 円	

【内訳】

1) 災害等非常時積立ファンド	1,430,491 円
2) 新世代及び国際交流ファンド	253,000 円
3) 地区誌編纂積立金	7,511,102 円
4) 米山記念奨学ファンド	1,252,434 円
5) ライラ特別分担金	248,575 円
6) 社会奉仕エイズデー協力金	156,690 円
7) 社会奉仕協力金	1,260,598 円
8) 地区大会繰越金	3,880,738 円

国際ロータリー第2640地区 2012-2013年度 収支決算報告書

収入の部	予算額	決算額
前年度繰越金	-	26,183,517
RIよりの交付金	2,000,000	1,544,000
地区資金	27,300,000	21,829,100
利子収入	-	6,657
PETS・地区協議会余剰金	-	1,951,650
合計	29,300,000	51,514,924
支出の部	予算額	決算額
委員会経費	120,000	43,312
諮問委員会	100,000	43,312
ガバナー指名委員会	10,000	0
業績賞選考委員会	10,000	0
クラブ奉仕関連	130,000	1,585,525
情報規定委員会	10,000	0
会員増強・維持委員会	10,000	0
雑誌・公共イメージ委員会	100,000	1,585,525
IT委員会	10,000	0
職業奉仕関連	10,000	29,400
職業奉仕委員会	10,000	29,400
社会奉仕関連	10,000	44,956
社会奉仕委員会	10,000	44,956
新世代関連	8,800,000	5,015,418
青少年・RYLA委員会	3,200,000	124,400
ローターアクト委員会	1,000,000	1,208,196
インターアクト委員会	2,600,000	2,591,647
青少年交換委員会	2,000,000	1,091,175
ロータリー財団関連	400,000	1,568,765
奨学金委員会(学友他)	100,000	-
セミナー設営・研修費	-	1,268,765
国際協議会参加補助金	300,000	300,000
米山関連	100,000	110,000
米山記念奨学委員会	100,000	110,000
会議費	1,100,000	1,566,038
地区チーム研修セミナー	0	0
地区幹事会	0	0
ガバナー補佐経費	1,000,000	972,400
会長会議	100,000	0
その他 会議費	0	593,638
ガバナー連絡会議(旅費)	500,000	303,000
各種補助、協力金	3,060,000	4,836,690
ロータリー文庫協力金	630,000	625,350
ガバナー会協力金	420,000	416,900
GE国際協議会参加補助金	500,000	500,000
GE国際大会参加補助金	800,000	800,000
規定審議会参加補助金	500,000	500,000
RIJYEC維持協力金	210,000	206,300
RLI研修	0	1,168,940
広島平和フォーラム	0	619,200
直前ガバナー記念品	100,000	100,000
ガバナー月信	300,000	315,000
HP作成	1,500,000	2,019,150
事務所経費	12,000,000	9,592,980
予備費	1,170,000	0
新クラブ設立費	-	1,000,000
計	29,300,000	28,130,234
次年度繰越金	-	23,384,690
合計	29,300,000	51,514,924

国際ロータリー第2640地区 2012-2013年度 部門別会計収支決算報告書

災害等非常時積立ファンド

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
		仙台市沿岸部松林再生プロジェクトへの資金協賛	500,000
前年度繰越金	1,930,491	次年度繰越金	1,430,491
合計	1,930,491	合計	1,930,491

新世代及び国際交流ファンド

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
地区青少年活動資金	7,220,500	青少年交換長期受入補助金	4,230,000
		インターアクト海外研修生徒補助	2,737,500
前年度繰越金	0	次年度繰越金	253,000
合計	7,220,500	合計	7,220,500

地区誌編纂積立金

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
前年度繰越金	7,511,102	次年度繰越金	7,511,102
合計	7,511,102	合計	7,511,102

米山記念奨学ファンド

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
前年度繰越金	1,252,434	次年度繰越金	1,252,434
合計	1,252,434	合計	1,252,434

ライラ特別分担金

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
ライラ特別分担金	2,106,000	府立青少年海洋センター	1,112,640
		ブルゾン・ファイル	258,510
		セミナー撮影費	105,000
		講師謝礼他	346,440
		諸雑費	34,835
前年度繰越金	0	次年度繰越金	248,575
合計	2,106,000	合計	2,106,000

米山梅吉記念館寄付

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
クラブ拠出金	92,400	米山梅吉記念館に寄付	92,400
前年度繰越金	0	次年度繰越金	0
合計	92,400	合計	92,400

社会奉仕エイズデー協力金(IM1234組)

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
		記念品製作費	95,760
		景品	6,850
前年度繰越金	259,300	次年度繰越金	156,690
合計	259,300	合計	259,300

社会奉仕協力金

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
識字率向上運動募金	418,342	識字率向上運動拠出金 (日本ユネスコ協会)	418,342
前年度繰越金	1,260,598	次年度繰越金	1,260,598
合計	1,678,940	合計	1,678,940

PETS・地区協議会

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
会長エレクト勉強会・PETS	1,460,000	勉強会 費用	625,233
地区協議会	5,110,000	PETS 費用	622,608
		地区協議会 費用	2,867,109
		地区協議会 冊子	503,400
		剰余金 地区資金繰入	1,951,650
合計	6,570,000	合計	6,570,000

Peace 絆 復興支援委員会

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
東日本大震災募金	42,990	日高川町義捐金	100,000
預金利息	25	那智勝浦義捐金	200,000
地区資金より	120,000		
前年度繰越金	178,095	次年度繰越金	41,110
合計	341,110	合計	341,110

国際奉仕 図書寄贈

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
寄付金	672,020	図書寄贈の補助金 7クラブ	672,020
合計	672,020	合計	672,020

地区大会

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
会員賦課金	21,910,000	事務所経費	3,262,833
晩餐会登録料	3,110,000	印刷関係	1,029,780
他地区来賓本会議登録料	45,000	登録関係費	121,296
2640地区ご家族本会議登録料	5,000	会場関係費	5,783,909
記念ゴルフ大会残金受け入れ	77,376	晩餐会費	3,635,774
御祝金	30,000	本会議昼食代	2,425,050
その他	41,499	講師費	1,300,000
小計	25,218,875	RI会長代理他来賓費	1,180,472
		記念品代	1,844,263
		記念記録費	2,890,583
		アトラクション費	2,476,687
		友愛の広場	193,368
		その他	442,350
		小計	26,586,365
(前年度繰越金)	5,248,228	次年度繰越金	3,880,738
合計	30,467,103	合計	30,467,103

地区大会記念ゴルフ大会

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
登録料	1,780,000	懇親会費用	602,000
協賛寄付金	390,000	賞品代	934,884
利息	31	会場費	252,260
		印刷代	154,970
		写真代	41,626
		運営費	75,265
		登録料返金	30,000
		送料	850
		振込み手数料	800
		余剰金(地区大会会計へ)	77,376
合計	2,170,031	合計	2,170,031

新クラブ設立費

大阪千代田ロータリークラブ	1,000,000
合計	1,000,000

ガバナー事務所経費

人件費	3,390,150
福利厚生費	184,003
水道光熱費	276,300
事務用品費・消耗品費	1,751,911
通信費	364,604
慶弔見舞金	814,500
印刷費	394,425
事務所賃借料	0
ガバナー公式訪問交通費	800,000
交通費	1,101,240
運賃	220,990
振込手数料	154,200
事務所諸雑費	242,523
前年度 林事務所経費 残金	△ 101,866
合計	9,592,980

財 産 目 録

2013年6月30日 現在

国際ロータリー第2640地区

(単位:円)

摘 要		金 額
現 金	手許有高	455,945
普通預金	地区資金口座	38,804,383
普通預金	Peace 絆 復興支援委員会	41,110
普通預金他	社会奉仕エイズデー	156,690
未収入金	国際ロータリー交付金	744,000
未収入金	預金利息	3,071
資産合計		40,205,199
未払金	ローターアクト委員会 活動費補助	91,196
未払金	財団 冊子制作費	341,250
未払金	事務所経費	258,766
未払金	アスクール代金	21,156
未払金	関西電力	21,885
未払金	水道代	11,200
未払金	電話代	14,243
未払金	ヤマト運輸	17,275
未払金	銀行振込手数料	8,800
負債合計		785,771
次年度繰越金額		39,419,428

以上の通り、ご報告申し上げます。

2013年9月20日

国際ロータリー第2640地区

2012-2013年度

ガバナー

北 中 登 一



財務委員会委員長

大 森 豊



代表幹事

上 田 俊 夫



上記報告書を監査いたしました。

外部監査

公認会計士

上 地 克 彦



2012～2013年度 地区大会 収支報告書

2013年6月14日

収入の部		内 訳
会員賦課金	21,910,000	10,000×2,191名
晩餐会登録料	3,110,000	20,000×145名 15,000×14名
他地区来賓本会議登録料	45,000	10,000×3名 5,000×3名
2640地区ご家族本会議登録料	5,000	5,000×1名
記念ゴルフ大会残金受け入れ	77,376	
御祝金	30,000	
その他	41,499	宿泊代4名分, 銀行利息
(前年度繰越金)	5,248,228	
合計	30,467,103	

支出の部		
事務所経費	3,262,833	
印刷関係	1,029,780	
登録関係費	121,296	
会場関係費	5,783,909	
晩餐会費	3,635,774	
本会議昼食代	2,425,050	
講師費	1,300,000	
RI会長代理他来賓費	1,180,472	
記念品代	1,844,263	
記念記録費	2,890,583	
アトラクション費	2,476,687	
友愛の広場	193,368	
その他	442,350	
小計	26,586,365	
次年度繰越金	3,880,738	(現金・預金含む)
合計	30,467,103	

2013年6月28日

地区大会実行委員長

吉川 寿一

大会会計

太田 俊幸

公認会計士

上地 克彦



監査報告書

国際ロータリー第 2640 地区
2012-2013 年度
ガバナー 北中登一 殿

貴地区の 2012-2013 年度（2012 年 7 月 1 日～2013 年 6 月 30 日）の諸帳簿、
収支決算書、預金通帳および関係書類に基づき監査した結果、その内容が適正
かつ経理事務が正確であることを証明します。

2013 年 9 月 20 日

外部監査

公認会計士

上地克彦



第2640地区 出席報告 (2013年8月)



第2640地区 出席報告 (2013年8月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	8月	平均	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	8月	平均
	13.7.1	8月末	8月	累計	8月	累計		出席率	出席率		13.7.1	8月末	8月	累計	8月	累計		出席率	出席率
有田	28	28	0	0	0	0	4	85.02	87.73	那智勝浦	16	16	0	0	0	0	4	86.67	86.67
有田2000	15	16	0	1	0	0	3	95.83	95.83	大阪千代田	24	31	2	9	2	2	4	90.00	90.50
有田南	32	32	0	0	0	0	3	95.00	92.00	大阪金剛	22	22	0	0	0	0	3	87.90	87.00
泉州 KIJMATORI Rotary E-Club Sunrise of Japan	16	52	2	38	0	2	4	100.00	100.00	大阪狭山	10	10	0	0	0	0	3	85.10	91.16
藤井寺しゅら	7	7	0	0	0	0	4	92.85	91.06	りんくう泉佐野	19	19	0	0	0	0	3	79.63	82.54
御坊	44	46	3	3	1	1	4	76.44	77.21	堺	64	66	2	3	1	1	3	93.79	93.97
御坊東	14	14	0	0	0	0	3	95.24	89.05	堺東	31	31	0	0	0	0	3	98.85	98.61
御坊南	27	29	1	2	0	0	3	79.16	77.98	堺フラワー	26	31	1	6	0	1	5	94.00	93.00
羽曳野	15	15	0	0	0	0	3	88.89	89.78	堺泉ヶ丘	22	22	0	0	0	0	3	92.42	94.89
羽衣	14	14	0	0	0	0	4	94.62	96.41	堺中	22	22	0	0	0	0	3	81.81	75.56
橋本	52	52	0	3	0	0	4	96.55	94.75	堺北	28	32	0	4	0	0	4	88.27	90.54
橋本紀ノ川	10	10	0	0	0	0	3	96.66	95.33	堺おおいずみ	27	30	0	3	0	0	3	85.96	84.87
岩出	28	28	0	0	0	0	4	84.82	85.27	堺フェニックス	31	32	0	1	0	0	4	76.62	76.21
和泉	22	23	0	1	0	0	3	91.30	90.73	堺清陵	15	15	0	0	0	0	4	92.86	89.29
泉大津	41	41	0	0	0	0	4	84.38	85.54	堺南	20	20	0	0	0	0	3	95.69	91.00
泉佐野	28	29	0	1	0	0	4	92.63	90.14	堺東南	10	10	0	0	0	0	4	91.32	87.08
和泉南	29	29	0	0	0	0	4	56.75	62.86	新宮	56	58	1	2	0	0	3	85.63	85.91
海南	29	30	0	1	0	0	3	74.40	75.17	白浜	8	8	0	0	0	0	3	91.67	95.84
海南東	51	51	0	1	1	1	3	73.36	73.64	太子	11	11	0	0	0	0	3	60.60	61.00
海南西	19	19	0	0	0	0	4	89.73	88.02	高石	26	28	0	2	0	0	4	75.26	78.46
貝塚	17	17	0	0	0	0	3	92.16	92.55	高師浜	15	17	0	2	0	0	4	81.31	81.49
貝塚コスモス	14	14	0	0	0	0	3	85.16	86.56	田辺	81	81	0	0	0	0	4	84.63	83.07
関西国際空港	19	20	0	1	0	0	3	83.33	83.54	田辺東	50	51	1	1	0	0	3	96.48	97.88
河内長野	29	29	0	0	0	0	4	88.50	89.70	田辺はまゆう	44	44	0	0	0	0	3	89.92	88.58
河内長野東	25	26	0	1	0	0	3	71.02	79.82	富田林	38	38	0	0	0	0	3	75.12	74.52
岸和田	31	31	0	0	0	0	3	87.92	89.09	富田林南	15	15	0	0	0	0	3	80.00	80.84
岸和田東	41	41	0	0	0	0	4	95.87	96.24	和歌山	62	65	2	4	1	1	3	77.14	77.71
岸和田北	10	10	0	0	0	0	3	100.00	100.00	和歌山アゼリア	31	34	1	3	0	0	3	86.27	86.31
岸和田南	13	13	0	0	0	0	4	57.69	58.66	和歌山東	41	42	0	1	0	0	4	77.78	78.47
粉河	17	17	0	0	0	0	3	100.00	100.00	和歌山城南	41	41	0	0	0	0	4	72.83	78.23
高野山	16	16	0	0	0	0	4	93.42	93.02	和歌山中	29	29	0	0	0	0	4	90.14	87.59
串本	12	12	0	0	0	0	3	69.44	63.05	和歌山北	37	38	0	1	0	0	3	82.51	82.15
松原	26	26	0	0	0	0	4	87.34	88.06	和歌山南	79	81	0	3	1	1	4	83.19	83.23
松原中	21	21	0	0	0	0	4	93.42	93.02	和歌山東南	47	48	0	0	0	0	5	84.08	84.08
美原	11	11	0	0	0	0	4	88.80	89.90	和歌山西	15	15	0	0	0	0	3	100.00	100.00

クラブ	7月1日クラブ会員数		8月末クラブ会員数		8月平均	入会		退会	
71	男性 1798	女性 158	男性 1850	女性 172	出席率	8月	累計	8月	累計
	1956		2022		86.19	16	99	7	13

【Rotary E-Club Sunrise of Japanは報告拒否のため人数に含めておりません】



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー
第2640地区月信



DISTRICT 2640

2013-2014年度ガバナー事務所

〒596-0825 大阪府岸和田市土生町2丁目27番1号 3F

TEL:072-437-2640

FAX:072-437-2650

<http://www.rid2640g.org/kubo/>

